

事業名	農道維持補修事業
-----	----------

総事業費	14,985 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	安全に移動できる道路	
事業の実績 と 成果	取組内容	市道と同様に作業計画を立て、2班体制による伐開作業と危険箇所の補修作業を行う。各地域からの要望を受け、農道補修のための八工敷きや生コン、地域の草払い用燃料の支給業務を行う。
	成果	地域住民からの連絡や点検パトロールにより、危険箇所等の早期発見、早期対応ができる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	これまで集落や受益者が維持管理を実施してきた箇所も高齢化により、管理ができない状況が増えることで、市が対応をせざるを得なくなる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	基本としている受益者による維持管理が困難な状況が見られるため、実施している事業である。地域からの要望は増していくと思われることから、事業の有効な手法、方策を検討する必要がある。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	農道の安全点検と伐開路線の調査計画を行い、農道の草払い作業、危険箇所の補修（舗装・陥没・路肩）、側溝清掃等を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	さとうきび持続的生産支援緊急対策事業
-----	--------------------

総事業費	180 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	中出し作業に係る経費の一部を軽減することで、さとうきび経営の安定化を推進し、栽培面積、生産量の維持・拡大を目指す。	
事業の実績 と 成果	取組内容	中出し料金を助成することで、さとうきび経営の安定化を推進し、栽培面積と農家戸数の維持拡大を図るため、さとうきび機械収穫を受託している西之表市農業振興公社に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。
	成果	機械収穫を委託する上で負担となっていた中出し料金を一部助成したことで、経営の安定化が図られ、生産意欲が向上し、栽培面積の減少は抑えることができた。しかし、地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市農業振興公社から機械収穫作業を再委託されたハーベスタ組合からの実績報告が円滑に行われるよう、市農業振興公社と密に連携する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	機械収穫を委託する上で負担となっていた中出し料金を一部助成したことで、経営の安定化と生産意欲の向上につなげ栽培面積の減少は抑えることができた。今後3年間栽培面積の状況を見て継続するか廃止するか判断する。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	特になし。
-----------	-------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	自給飼料生産拡大事業
-----	------------

総事業費	1,100 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	飼料基盤の強化及び飼養頭数増による農家収益性向上。 市営種子島牧場の粗飼料生産量増による自給率の向上。	
事業の実績 と 成果	取組内容	市営種子島牧場の草地造成を実施した。
	成果	草地造成・整備を実施したとにより、牧草管理作業の効率化が図られた。また、土壌改良効果により高品質・高収量の牧草生産につながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	受益者負担が2割の事業であるが、施設整備については、建築基準に基づいた施工を行わなければならないことから、事業費が高額になる傾向にある。 事業費が高額になるに伴い、取得した施設等の固定資産税が重くのしかかり、事業参加を断念する農家もいる。採択要件として熊毛地区で15ha以上(受益者1名あたり1ha以上)の造成・整備が必須条件のことから、受益面積確保に苦慮している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	飼料基盤拡大により飼料自給率の向上を図り、畜産経営基盤の安定化につなげるためにも、継続していただきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	本事業により市営種子島牧場の地力回復を行い、飼料自給率の向上を図り、畜産経営基盤の安定化につなげるために牧草生産量を増加させる。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止ネット助成事業
-----	---------------

総事業費	1,329 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	農業者による鳥獣被害への自己防衛推進を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	店舗において助成額分を引いた額での販売を行い、店舗からの実績を基に助成を行った。
	成果	農業者自らによる鳥獣被害対策が図られ、それが被害軽減につながっている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	ネットについては一定期間で破損(消耗)することも多く、その都度購入の必要が生じる。今後も継続した助成が求められる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	鳥獣被害への自己防衛推進を図るために効果があった。今後も継続した取り組みが求められる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	本年度も店舗において助成額分を引いた額での販売を行い、店舗からの実績を基に助成を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止活動お助け隊設置事業
-----	------------------

総事業費	2,250 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	農業者の鳥獣害への自己防衛対策の意識向上に繋がる。	
事業の実績 と 成果	取組内容	市内巡回によるシカの出没状況を把握し、有害鳥獣捕獲期間での従事者への情報提要により、効果的な捕獲活動を実施した。
	成果	農作物の被害報告を受けた時に早急に現地確認を実施し、捕獲等による被害拡大を抑えられている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	侵入防止柵の効果的な設置の指導について、要請があまりないことから、広報等により情報提供を行い、防除への意識啓発を行わなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	被害報告や現地確認の速やかな対応ができている。今後とも引き続き、設置していきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	本年度も鳥獣被害調査を基本とするが、ネット設置指導にも力を入れ、農業者の意識向上につなげたい。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	地域振興推進事業（シカと共存と被害ゼロ促進事業）
------------	--------------------------

総事業費	574 千円
-------------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	シカ捕獲推進を図る	
事業の実績と成果	取組内容	シカの捕獲に係る経費助成を行った。
	成果	計画捕獲頭数分の捕獲経費助成が達成できた。（国庫事業不足分のカバーができた）

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題（事業担当者記入）	なし
評価結果の根拠及び今後の課題（担当課長記入）	令和2年度は、3,000頭捕獲の予算を計上しているため、埋施設設がいっぱいになった時の対策を協議していきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	令和元年度で事業休止
-----------	------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止総合対策推進交付金事業
-----	-------------------

総事業費	1,104 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	有効な鳥獣被害防止対策の普及啓発を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	<p>農業者への自衛の手段として、狩猟免許取得のための講習会費用の助成を実施。 被害防除のために実施している対策のための先進地視察研修の実施。 シカ捕獲数を確保するために従事者へくくりワナ貸与のための購入。</p>
	成果	<p>新規狩猟者免許取得者4名 被害防除への取り組みについて本市で実施可能な対策の検討項目を把握できた。</p>

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	捕獲活動を実施しながら地域ぐるみでの防除体制づくりを推進する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	狩猟免許取得のための講習会費用の助成を実施し、新規狩猟者免許取得者が4名ということで自衛の意識づけになっている。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	引き続き、被害防除と捕獲活動の両面の取り組みの推進を図る。
-----------	-------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止総合対策整備交付金事業
-----	-------------------

総事業費	12,218 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	シカ被害軽減が図られる。	
事業の実績 と 成果	取組内容	金網柵資材を協議会で購入し、要望のあった各地区組合での自力施工で設置を行なった。
	成果	金網柵で囲むことで、シカの侵入を防ぐことが出来る。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	設置要望が多く予算の範囲内での対応となることから、単年度で全てのほ場を実施することが出来ない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	金網柵は、効果大なので補助金がある限り続けていきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	本年度実施予定地区との連携を図り、早期施工を目指す。 次年度以降の整備計画を固める上で、既に要望のある箇所は早めに準備し、事業説明会後の要望箇所も加えて国に要望していきたい。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業
-----	------------------

総事業費	16,488 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	シカ捕獲推進を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	農作物被害発生予察による有害鳥獣捕獲指示による計画的な捕獲を実施した。
	成果	指示期間に対し、1日平均約11頭の捕獲を行い、早期に計画数に到達した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	農作物への被害軽減をさらに図るために、個体数減少のための捕獲とほ場付近での捕獲による被害軽減を実施しなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	引き続き農作物への被害軽減のために継続が必要である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	シカ捕獲計画を3000頭に増やし、個体数減を目指す。
-----------	----------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明